八百屋界の旭山動物園を目指して

週刊すず辰（第348号）令和1.7.16

今週も、〝すず辰(すずたつ)”が厳選しました農家さんの野菜（果物）たちをお買い上げいただきありがとうございました。ぜひおいしいもの好きなお友達・お知り合いにもお声かけください。お客様の輪が八百屋の力になります。

●今週のピックアップ商品○（来週もあります。）

空芯菜、ぜひ一度お試しを。

「空芯菜（くうしんさい）」、中華やタイ料理の炒め物で使われる野菜です。茎の筒状になっていて、独特の歯ごたえがあり、おいしいのです。

ニンニクやトウガラシを効かせて、強火でざっと炒めればあら不思議、何とも軽快な食感がおいしいのです。

シンプルに塩炒めでって方も。この食感は一度ご体験を。

ロックから熱燗まで人気の辛口。

京都伏見招徳酒造さんの特別純米花洛　辛口原酒。すっきりとした酸味。キリッと辛口。暑い夏には、氷を浮かべてが、お勧めだそうです。▪

▪僅かに甘い香り、スッと入る口当たりの良さの後にしっかりとした辛口の飲みごたえがあり、当時の大塚さんも夏場の晩酌はこれ一択とか（笑）。

お酒をロックで、楽しみです。▪

▲すず辰のこぼれ話▽ 次の京とうふは7/16、18、20、23，25です。

「選挙割」します！

今週末は参議院選挙ですね。「良識の府」たる参議院の議員を決める選挙。6年間の任期中、衆議院のような解散がないからこそ、じっくりと独自の専門知識・経験の下に、議論し、法案を作っていくことを求められる参議院。議論をまともにできる国会を示してほしいところです。そもそも、投票率6割って異常です。国民の4割が棄権しているなんて…。

というわけで、「選挙割」します！　投票後、「選挙済証」を窓口でもらってお店で提示ください。どどんと「500円分」サービスします。普段手が出なかったものなど、せっかくなので買ってみてください。投票に行きましょう！

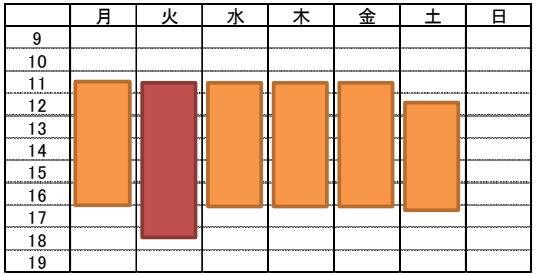
◆ちょっとまじめな話：父のチャレンジ◇

「女房」「娘」と続きましたチャレンジ。「父」もチャレンジします！

といってもささやかなところなのですが、**「火曜だけ18:30まで営業」**します。

普段「平日11:30～17:00、土曜12:30～17:00」と17時までの営業で、働いているお客さんや、日中忙しくなってしまいなかなか来られなくなってしまった常連さんなどがいることをわかりつつ、主夫として夕方は子どもらの送迎時間とあきらめてきました。

昨年試験的に何回か実施したところ、思った以上に来店される方が多く、やらない理由はないなと。女房とファミリーサポートさん（子育て支援のボランティアサービス）の力を借り、まずは週1回ですが営業時間を延ばします。



理想を言えば、「9～19時の営業」ができればいいのでしょうが、それはそれってことで、**「すず辰、火曜は18:30までやってるってよ」**ってことでロコミいただければ幸いです。

そしてもう一つのチャレンジが！

「朝型市場に仕入に行きたいな」と。朝は子どもらに朝飯食べさせたり、洗濯したりとで、早くても動き出すのが8:30とかで、市場仕入は先輩の八百屋さんにお任せです。が先日、その先輩から、「子どもらも全員小学生になったんやし、そろそろ自分で市場いったら？」と言われまして。

セリが7時前後だそうで、ほんまなら6時台から行って、入荷状況を確認し、7時セリに参加…、となるのでしょうが、それはまだ難しく、まずは8時頃に行って、注文品を取ってくるのと、生の市場を見て、旬の情報を早くつかむでしょうか。

てことは、7時半子どもらが登校するのと同時にいっしょに家を出ると、約1時間の前倒しです。こちらの方がチャレンジな気がします。朝の1時間言うは易く行うは…。

まぁ、無駄な時間もあるわけで、子どもらが起きてくる前が勝負です。

【感謝】 女房のチャレンジ：研究資金のクラウドファンディング、おかげさまで目標の300万を超えてまだまだ伸びています。ありがとうございます。

すず辰マガジンがウェブで読めるようになりました↓

《すず辰について》

鈴木辰徳（辰年：43歳。12,9,7歳の3児の父）がH23に開業。「野菜で笑顔を結ぶ」をモットーに、作る人と食べる人の笑顔の架け橋となるべく、素敵な農家さん、野菜果物のおいしさ楽しさをご提案。路面での販売“マルシェすず辰”を経て、H25/3/25念願の店舗オープン！ マンガ“八百森のエリー”絶賛応援中！

函館市本通1-24-3(店舗) 店前・店横駐車可。
平日11時半・土曜12時半開店　17時閉店（日祝日休み）
TEL/FAX：0138-76-9865　メール：suzutatsu831@ncv.jp
HP：http://suzutasu831.com/

◆ちょっとまじめな話：女房の“チャレンジ”◇　(2019/6/24)

海棲哺乳類の生態学者である女房。要は海に生息する哺乳類の生活を調べているわけですが、アザラシやトド、イルカ、クジラ、シャチといった動物が対象です。

松前行ったり、厚岸行ったり、羅臼に行ったり。果ては、学会で海外まで。年の1/5はなんらか不在でしょうか。

そんな女房が「クラウドファンディング」なるものに挑戦中です。自分がやりたいことに対し、賛同してくれる人を募り、資金を集める最近のしくみです。

女房のやりたいことは、羅臼（知床）に現れるシャチの生態を詳しく調べること。これまでの調査で、羅臼の海域が高密度でシャチが生息する、世界有数の海域であることや、700mを越えるシャチの潜水行動を観察したり、いくつものグループのシャチが時に一堂に会することがある（集団お見合い？）ことがわかったり。

でも海の中の生物。その生態はまだまだ分からないことばかり。より詳しく調べるためには、いろんな機材を使用し、そして資金も必要です。広くシャチに興味のある方々の力を得るべく、今回のチャレンジとなったようです。

詳しい研究の状況は以下のページをどうぞ。興味深いレポートになっています。

昨年まで2年に渡ってNHK取材班が研究チームに密着し、放映されたのが以下のページです。

海の王者シャチの生態を知りたいと言う方はぜひ応援いただけるとうれしいです。

◆ちょっとまじめな話：娘の“チャレンジ”◇　(2019/7/1)

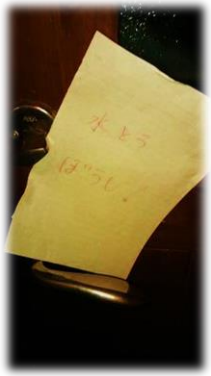
女房に続いて、娘のチャレンジについて。（前者は「シャチ　クラウドファンディング」と検索いただくと、「シャチに出会える海、知床羅臼。その謎を解く海中のヒントを探れ」と言うページが出てきます）

小6の娘。今年は女房に続いて忙しいです。元々、幼いころからスイミングスクールに通っていたところに、小4から吹奏楽部に入部。これが、全国大会への常連校で。シーズンになると休みは週1回のみ。土日も結構練習あり。授業が終わると夕方までは吹奏楽部（以下吹部）の練習。そして、夕方からはスイミングで練習（スイミングは週3～4回）。

これだけで大変なところに、何と今年地元で中学受験をすると言い出したのです。で、春から塾へ行くことに。週2で入ってくる塾。そして、その宿題。学校の宿題も意外に多く、気を抜くとすぐにたまる宿題たち。

そんな中、やってきました修学旅行。必要なものを確認すると雨具がいるというので、週末買いに行き、土日で事前に準備しておきや～、と言って任せていると、出発前日、夕方に吹部終わりの娘を迎えに行くと「全然準備できていないのでスイミングを休む」と。しゃーないなと、家に連れて行き、私は息子たちを迎えにスイミングへ。

21時前に、長男を連れて帰宅すると、楽しそうにTVを見ている娘。「（修学旅行の）準備終わったん？」と聞くと、「まだ」との答え。思わずプチッと切れてしまいました。「2時間何してたん！？」と。



何故か、旅行あとの学校の準備を先にし、TVが楽しく、気になりつつも肝心の修学旅行の準備が進まなかったという娘。

「優先順位が違うやろー！」と、「息抜きするなとは言わんけど、やるべきことやってから遊べやー！」と関西弁が出る父。

その後、半泣きになりつつ、準備した娘。

小6の子にちょっと厳しいのかしらん、と後から反省しつつ、翌朝玄関で見たのが右の張り紙。「すいとう　ぼうし」と忘れないよう自分で書いたらしく。娘の工夫に少しうれしかった父です。

こども食堂を立ち上げたときに、世の中の人たちに応援される事柄は、結構な支援を受けられるものだな、という実感があったのですが、上記シャチの研究、過去2年NHKさんとの協力関係から、NHKのニュースやドキュメント番組で放映されていたため、全国のシャチファンの方からの支援もあり、なかなかの勢いです。

個人的に、資金だけでなく、人出を募れるサイトがあると、既存のボランティアやNPO活動は上手くいったりするのになぁと思っています。「人・物・金」といいますが、何かをやろうとすると、その3者が必要で、それがいろんなところから持ち寄れると世の中、もっといろいろできる事があるだろうなと思っているのです。

この流れで行くと、「息子たちのチャレンジ」と続くのですが、さてなんでしょうか？

何やら長男は「アスリートになる！」と最近言っています。次男は「小3になったら陸上部に入る」とも、そして、長男もそれに便乗して「自分も入る！」と。

水泳に陸上の二足のわらじ、どうなりますやら。9月の学校のマラソン大会がありますが、昨年長男は学年2位。次男は5位？　今年はどうなりますやら。

子どもは可能性の塊ですね。やりたいってことに対してはできるかけ協力したいと思いつつ、父も身も一つ。家族やいろんな方と協力しつつ、できる事を増やしていきたいと思う今日この頃です。